

令和5年度 北濃小学校 学校経営構想

郡上市の方針と重点

凌霜の心で拓く明日の郡上市 ～自立、共生、創拓の教育～

児童の実態

- ・素直で純朴である。各活動に誠実に取り組む。基礎的基本的な学力は定着してきている。ICT機器の活用にも慣れてきている。
- ・固定的な仲間関係から抜け出せない。主体性や積極性の面で弱い。思考力、判断力を伸ばしたい。

地域の実態

- ・古くからの歴史があり文化にも恵まれている。
- ・公民館活動等地域行事がさかんであり、子どもたちも意欲的に参加している。
- ・地域の人々は学校の教育活動に対し、協力的で奉仕的である。

めざす児童像

- ◎夢や願い、目的をもち、実現に向けてひたむきに努力する児童
- ◎思いや考えを豊かに表現できる児童
- ◎思いやりをもって仲間と共に行動できる児童
- ◎ふるさとや伝統を大切にする児童

学校の教育目標

ふるさとに誇りをもち、未来をひらく子

つくりだす (創造性)

進んで学ぶ (自主性)

手を取りあう (社会性)

指導の重点

つくりだす (創造性)

- ◇地域のよさを知り、伝える活動の推進
 - ・地域探検、見学、訪問などの体験の充実を図る。
- ◇子どもの主体性やよさを発揮できる活動の推進
 - ・雅楽、白鳥おどり、生き物調査等の取組の充実を図る。
 - ・地域行事への主体的な参加を促す。
- ◇地域の人の生き方から学ぶ活動の推進
 - ・地域人材の活用をすすめる。
- ◇読書から学ぶ活動の充実 (図書館教育の推進)
 - ・豊かな読書活動 (本と触れ合う機会の充実等)
 - ・読書を通じた仲間との交流活動

進んで学ぶ (自主性)

- ◇「できた」「わかった」「おもしろい」を実感できる学習
 - ・3つの見届けの明確化を図る。
 - ・交流学習の充実 (教え合い、学び合い) を図る。(ロイロノート・TVモニターの活用)
 - ・相手意識をもった表現の工夫を図る。
- ◇ICT教育の推進
 - ・タブレットを活用した多様な学習活動を図る。
- ◇チャレンジタイム、家庭学習の充実
 - ・子どもの学習意欲を喚起する内容の見直しをすすめる。
 - ・タイピングの習熟を図る。

心と心をつなぐ

あ い う え お

明るいあいさつ 一生懸命な声
美しい学校 笑顔でなかよし
思いやりの心

心身の健康

- ・安全な学校生活、危機対応、命を守る訓練
- ・歯磨き ・縦割り活動
- ・教育相談、マイサポーター、児童交流
- ・迅速な生徒指導

手を取りあう (社会性)

- ◇人権教育の推進
 - ・郡上市「命の教育カリキュラム」を柱とした教育活動をすすめる。
 - ・道徳的価値に迫るための思考や議論のあり方を探る。(考え、議論する道徳)
- ◇自己有用感を高める指導の充実
 - ・学習活動、委員会活動において、児童の思いを生かしていく。
 - ・具体的な達成目標を掲げ、達成感をもたせる。
 - ・子どものよさを認める指導を通して、自己肯定感を高める。

児童を支える職員集団

- ◇明るさ ◇温かさ ◇支え合い
- ◇不祥事0 ◇適正な勤務

地域との連携

- ◇幼保・小・中・(高) の連携・交流の推進 (白鳥プラン、交流会、合同学習、TV授業、授業・保育参観)
- ◇学校運営協議会との連携
 - ・PTA ・公民館 ・地域講師

PDCAサイクル

- ◇職員評価(中間・年間) 児童評価(中間・年間) 保護者評価(中間・年間)
- ⇒ 北濃小学校の教育の改善